

## Tranzax、PO ファイナンス®の取扱高が 100 億円突破しました

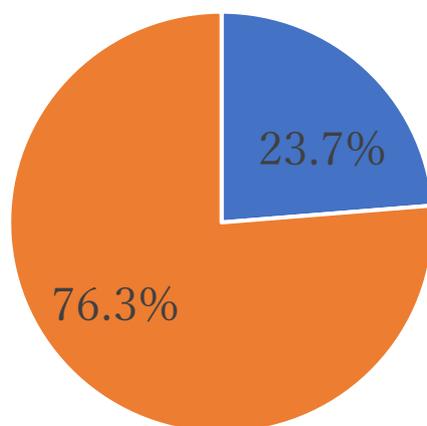
金融と IT を融合した Fintech ベンチャーである Tranzax 株式会社（本店：東京都港区、代表取締役社長：大塚博之）の主力サービスである PO ファイナンス®の取扱高が、2024 年 1 月に累計 100 億円を突破いたしました。本格的なサービス開始から 3 年余り、2019 年 6 月に補助金対応 PO ファイナンスが国の成長戦略の一つとして閣議決定したこともあり、国や自治体において利用可能な対象補助金が増えました。最近においては、主に事業再構築補助金やものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金、観光庁の様々な補助金等のつなぎ資金需要において、多くの中小・小規模事業者や金融機関等のお客様にご利用いただきました。

補助金対応 PO ファイナンスとは、補助金の交付決定通知を電子記録債権化し、それを譲渡担保として金融機関から補助金見合いのつなぎ融資を受けやすくするサービスです。

当社は、2020 年 7 月に株式会社日本格付研究所（JCR）から補助金対応 PO ファイナンス・フレームワークとして SDGs ファイナンス（ソーシャルまたはグリーンフレームワーク）として認証を受けました。

### ■PO ファイナンス®の種類別割合

約 76 パーセントが補助金対応 PO ファイナンスで、経済の正常化に伴い、一般 PO ファイナンス®も増加しています。

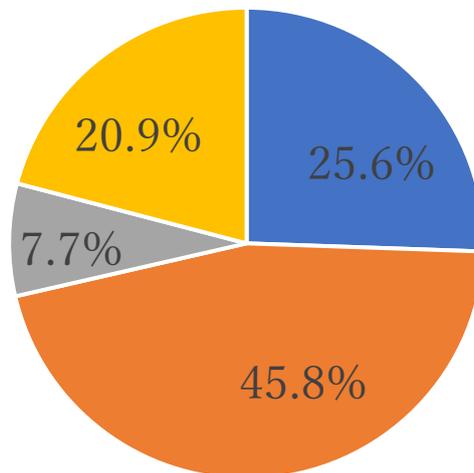


■ 一般POファイナンス    ■ 補助金対応POファイナンス



#### ■補助金対応 P0 ファイナンスの金融機関カテゴリー別内訳

補助金対応 P0 ファイナンスのうち、約半数が中小・小規模事業者を多く融資先とする信用金庫・信用組合がつなぎ資金の融資を行っています。



■ 政府系金融機関+地方銀行 ■ 信用金庫 ■ 信用組合 ■ ノンバンク

Tranzax は「電子記録債権の革新的可能性に最新の IT 技術を融合させ、中小企業・ベンチャー企業に新たな金融のチャンスを提供する」ことを使命としています。

当社は、今後も FinTech の先端企業として新たな金融サービスを実現し、守り一辺倒だった「ファイナンスを、チャンスに」変えることができる、日本の金融インフラの一翼を担ってまいります。

#### ■P0 ファイナンス®について

Tranzax の『P0 ファイナンス®』は、受注したという事実とその内容を電子記録債権化し、受注時点からの譲渡担保融資を可能とする、今までにない新しいサービスです。

#### ■Tranzax 株式会社について

Tranzax 株式会社は、日本の活力を金融面で支えることをめざしています。電子記録債権を活用し企業活動と商流を見える化することで、利便性が高く革新的なサービスを提供している会社です。

会社名 : Tranzax 株式会社  
設立 : 2009 年 7 月 7 日  
資本金 : 2,809 百万円（資本準備金等を含む、百万円未満切り捨て）  
代表者 : 代表取締役社長 大塚 博之  
ホームページ : <https://www.tranzax.co.jp/>



【本リリースに関するお問い合わせ先】

Tranzax 株式会社 経営管理部 武井 恭子 03-6822-6533

HP お問い合わせ画面 <https://www.tranzax.co.jp/contact.php>